

公式記録

令和2年度兵庫県高等学校サッカー新人大会

準決勝 【 38 】



(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

日時	2021年2月6日(土) 13:00 キックオフ					会場	アスパ五色 メイングラウンド													
天候	晴れ	風	微風	ピッチ	(天然芝)・人工芝・クレー	状態	良好	試合形式	70分 / 延長	分 / PK戦	有									
運営責任者	笠原 弘樹		会場主任	田村 孝次		記録	石塚 健二 / 芝切 淳		観衆	無観客										
主審	福吉 海偉		副審1	寺岡 大輔		副審2	亀田 詩真		第4の審判員	中川 琢士										
チーム名	報徳学園高校					0	前半	0	後半	1	1	チーム名	滝川第二高校							
							延前		延後				kick off							
							PK戦		PK戦											
交代	シュート					選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート					交代			
No.	OUT時間	延後	延前	後半	前半							前半	後半	延前	延後	OUT時間	No.			
	分					好井 基陽 2年 31	GK	GK	1	阪本 圭裕 2年						分				
	分					大野 匠 2年 9	DF	DF	2	黒井 海舟 2年						分				
	分					坂元 一太 2年 14	DF	DF	6	亀井 大和 1年						分				
	分					山崎 純平 1年 26	DF	DF	3	島田 爽吾 2年						69分				
	分					吉崎 音羽 2年 4	DF	DF	4	中村 武藏 2年						分				
	分				1	岸本 颯太 2年 62	MF	DF	14	田中 璃亜夢 2年						分				
	分					筒井 翔太 2年 11	MF	MF	8	川崎 拓 2年						60分				
52分				1		松本 一輝 1年 25	MF	MF	15	寺田 健人 2年						分				
	分					船越 大空 2年 18	MF	MF	10	藤田 仁朗 2年		1*				分				
HT分						久富 陸斗 2年 5	MF	FW	17	中塚 大偉 2年	2					44分				
63分						橋本 凛人 2年 7	FW	FW	9	相原 禎汰 2年	1	1				70-4分				
	分					長村 末都 1年 21	GK	GK	12	多田 健司 2年						分				
	分					山本 征汰 2年 6	DF	DF	13	日野 悠太 2年						分	3			
	分					井出 隆介 2年 13	DF	DF	24	杉本 翔太朗 2年						分	9			
	分					陰地 波人 2年 33	DF	MF	7	元津 潤哉 2年						分	17			
	分					坂井 颯斗 2年 49	DF	MF	16	丸尾 太一 1年						分				
7分						尾形 蓮 2年 15	MF	MF	19	倉内 晴久 2年						分				
	分					瀧田 隼人 1年 20	MF	MF	22	多田 柗史 2年						分				
25分						淡路 丈翔 2年 36	MF	FW	11	西村 太希 1年						分	8			
5分						坂元 一渚璃 1年 8	FW	FW	18	平岩 航汰 2年						分				
時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
分					2			1	1	シュート	3	2			5	62分	警	9	相原 禎汰	ラフ
分					4			1	3	GK	4	3			7	分				
分					1			1	0	CK	0	1			1	分				
分					8			6	2	直接FK	6	5			11	分				
分					1			0	1	間接FK	1	2			3	分				
分					0			0	0	PK	0	0			0	分				

[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去

[退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過] 略号例:ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS
	58分	滝川第二	10	藤田	0-1	右CK ⑭ → ⑩ ~ 中央 S
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	

戦評者 所属【 芦屋・西脇工 】 氏名【 上野・川口 】

晴天の中、報徳4-4-2、滝二3-5-2、滝二キックオフでスタート。立ち上がりから滝二は3バックとポランチで攻撃を組み立て、両サイドのウィングへのロングボールを狙い、サイドで起点を作り主導権を握る。一方報徳は前半飲水タイムくらいから守備の距離間が改善し、滝二のビルドアップを奪う回数が増え、滝二ゴールに迫る。特に報徳のポランチのポジショニングがよく、バイタルエリアへの侵入させず、均衡状態で前半終了。後半に入り、報徳は⑩坂元を投入し、さらに右MF⑩船越をFWにして攻勢に出る。立ち上がりから報徳はセカンドボールを拾い、冷静にボールを動かし、主導権を握ることに成功する。滝二は前半同様3バックからビルドアップを試みるも、報徳FWがうまくプレスをかけ、単調な攻撃となりチャンスを作れずにいる。後半飲水タイム後、滝二は4-4-2にシステム変更し、直後、ショートコーナーから報徳のスキをつき⑩藤田の巧みなドリブル突破から鮮やかな試合を決定づけるゴールを上げる。両チーム、力の均衡した準決勝に相應しい好ゲームであった。

[備考] 新型コロナウイルス感染予防対策のため、無観客での試合開催